

連絡先

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
微生物部ウイルス課 本村・森
ダイヤルイン番号:06-6972-1401
メールアドレス: iph_virus@iph.osaka.jp

新型コロナウイルス感染症に係る誤った検査結果の報告について

令和2年6月11日

大阪府保健所(以下「保健所」という。)の依頼を受け、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所(以下「大安研」という。)で実施した新型コロナウイルス感染症に係る検査結果を、大安研が大阪府健康医療部医療対策課(当時。現:感染症対策課。以下「医療対策課」という。)に誤って伝えていたことが判明しました。このような事態を招いたこととお詫びいたします。また大安研においては、今後、検査結果のダブルチェックの徹底を図るとともに、再発防止に努めてまいります。

1 経過

○令和2年4月15日(水曜日)

- ・保健所が大安研(森ノ宮センター)に新型コロナウイルス感染症疑いの8検体を搬入。同日午後、当該保健所の8検体を含む136検体について検査を実施。

○4月16日(木曜日)

- ・上記の検査結果を大安研が「結果報告用エクセルファイル(以下「結果報告ファイル」という。)」に記載し、メールにて、医療対策課に9時40分に報告。
- ・この際、結果が「陽性」であった患者Aを「陰性」と、結果が「陰性」であった患者Bを「陽性」と、取り違えて結果報告ファイルに記載し、報告した。

○6月2日(火曜日)

- ・大安研が、保健所に対し、上記の行政検査に係る検査成績書(行政検査の結果を記載した正式な通知)を、逕送便にて送付。
- ・この検査成績書には、患者Aは「陽性」、患者Bは「陰性」と、正しい結果が記載されていた。

○6月3日(水曜日)

- ・大安研から送付された検査成績書を、保健所が收受。

○6月8日(月曜日)

- ・保健所が、患者 A 及び患者 B について、4月16日に医療対策課経由で入手した結果と、検査成績書の結果が異なっていることを指摘。大安研で確認したところ、4月16日に医療対策課にメール送信した結果報告ファイルの内容に、記載誤りがあったことが判明。
- ・大安研は、記載誤りであることを医療対策課に報告。

2 原因

- ・検査結果を報告する際には、検査結果を記載した「新型コロナウイルス検出記録用紙」の内容を、結果報告ファイルに入力することになっているが、今回、その入力の際に誤りがあった(別紙「大安研における検査フロー図」参照)。
- ・加えて、医療対策課への報告を急ぐあまり、本来行うべき最終確認を行わず、結果報告ファイルをメールで送信してしまった。

3 誤報の判明に時間を要した原因

- ・本来、結果報告ファイルのメール送信による報告から、時間を空けずに検査成績書の発行を行うべきところ、新型コロナウイルス検査の件数が増大したことから、発行事務が滞ってしまっていた。

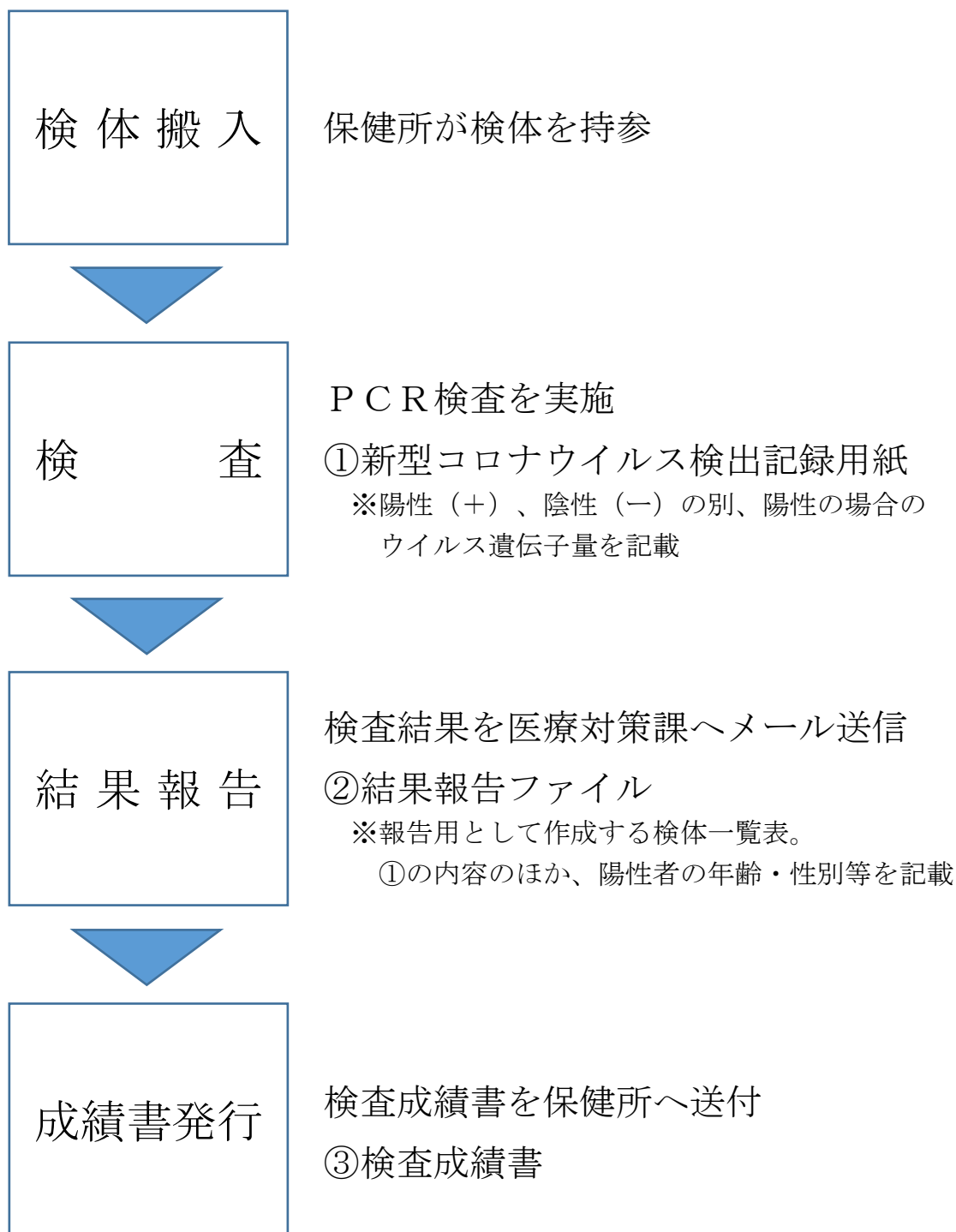
4 対応

- ・6月8日までの検査(森ノ宮センター11, 293検体、天王寺センター9, 367検体)の結果について、他に同様の事案がないかを再確認したところ、誤りはなかった。
- ・現在、発行が滞っている検査成績書については、6月中を目途に発送する予定としている。

5 再発防止策

- ・今回の事態を厳粛に受け止め、今後、同様の事案が発生しないように、必ず複数で確認し、検査依頼先に結果を報告する。
- ・検査数の増大に対応し、検査成績書の発行などの事務処理を計画的に推進できるよう、体制を整える。
- ・今後、同様の事案が発生しないよう、所内で本事案を共有し、理事長から職員に注意喚起を徹底する。

大安研における検査フロー図



記載誤り

注) ①～③は、大安研が作成する資料